

昭和十八年二月二十五日 印刷納本
昭和十八年三月一日 (毎月一回一日發行)

禁轉載

道路の改良

第二十五卷
第三號

社團
法人
道路改良會

鋪裝報國

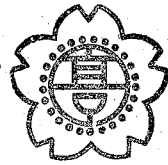
東京・丸ノ内

日本鋪道株式會社

社長 淺利 三期

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

土木建築
道路鋪裝
工事請負



株式會社 高野組

本社

東京市京橋區越前堀二ノ一

倉庫

東京市品川區東品川三ノ三

大阪出張所

電話高輪(44)五三四〇番
大阪市北區梅ヶ枝町一五七(梅ヶ枝ビル)

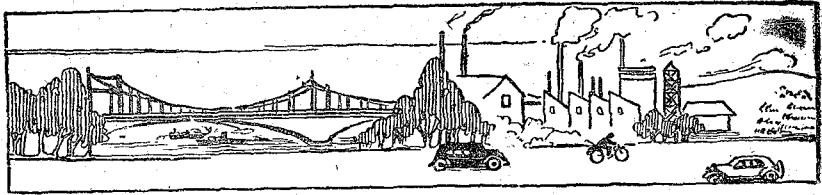
福岡出張所

電話北(36)二、九五六番・一、九八八番
福岡縣糟屋郡和白村奈多

上海出張所

電話和白二一八番
上海市老靶子路二六九號

電話(02)四三、二二三番・三、九五〇番



道路改良第二十五卷第三號 目次 昭和十八年三月一日發行

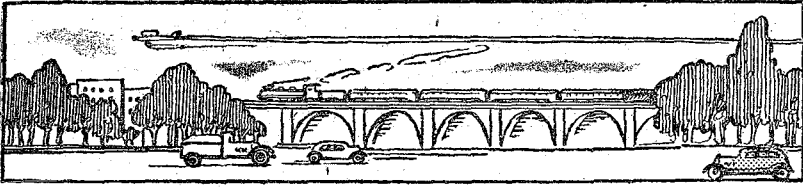
卷頭言

研究

- 獨逸道路交通法人及車輛ノ道路交通許可令(六)……………多田基(三)
- バルカン諸國の歴史産業交通の概況(三)……………H T 生(三)
- 行政裁判所判例に就て……………京都府土木部 宇都宮靜男(二五)

說苑

- 道路改良會首腦部と道路問題の推移 Ⅱ 常務理事佐上信一氏(一) 清水生(二六)
- 靜岡縣に於ける道路愛護運動(三)……………靜岡縣土木部 左右田友三郎(四)
- 米國に於ける飛行場建設事例……………都市土木株式會社 調査部 藤田勇(五)
- 大熊喜邦氏の近業「本陣の研究」を読む……………安田正鷹(六)



『戦争と自動車道路』……………(七一)

時局日誌(六十四)……………Y H 生(五)

内務省特報

◎内務省告示(国道改築)◎東條内閣總理大臣の官吏に對する訓話……………(五)

法令

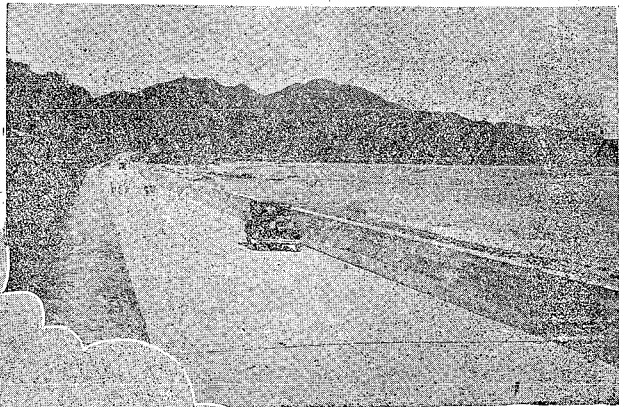
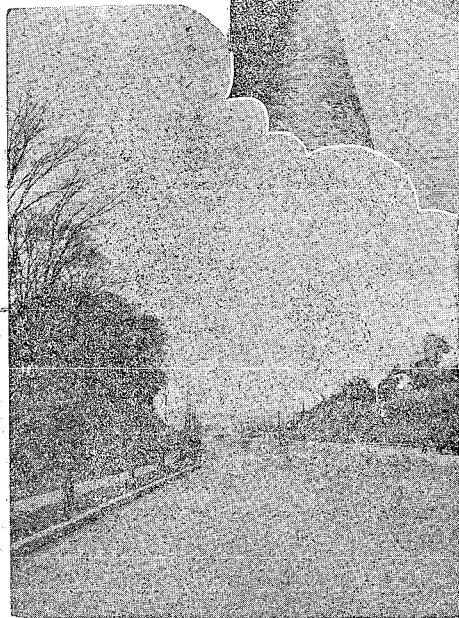
最近内務省に於ける路政關係行政處分例……………Y A 生(六)

通牒 行政官廳職權委讓ニ伴フ事務取扱ニ關スル件
行政官廳職權委讓ニ伴フ書類提出方ニ關スル件

雜報

◎道路功績者の表彰◎道路愛護助成金交付◎本會々長水野鍊太郎氏及顧問橋本圭三郎氏◎本會幹事井關正雄氏◎飯島馨之助氏◎林銑十郎氏◎大谷旬佛氏◎内務省土木試験所談話會◎近刊圖書雜誌……………(四)

編輯室の内外……………(一〇)



淺野ポルトランドセメント
一般工専用

淺野高爐セメント

下水工事ニ

好適

淺野ベロセメント

短期高強度

工事期間短縮

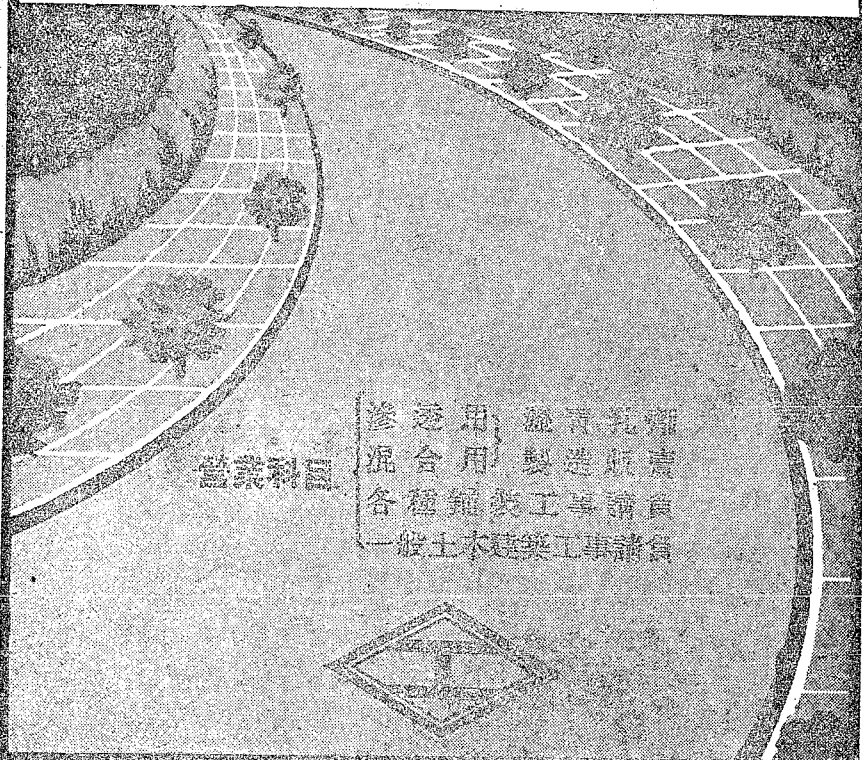
工事費節約

淺野セメント株式會社

東京市丸ノ内海上ビル

裝 鋪 路 道

(力夕口夕贈呈)



營業科

瀝青乳劑
製造販賣
各種鋪裝工事請負
一般土木建築工事請負

東邦工業合資會社

本 社 { 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三
電話青山(36)四九七三・八一四八

工 場 { 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二
福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 { 名古屋市・京都市・大阪市
岡山市・廣島市・小倉市・熊本市

改訂増補出來！

道路職員必携

本書は道路改良計畫竝に其の設計の指針として、本會が特に道路技術竝に行政の權威者三十餘名の方に執筆を依頼し完成したるものにして、内容は豊富に且つ記述も實に精緻を極めたもので、印刷装幀も鮮麗優雅にて携帶に便なるハンドブックである。

殊に道路構造令・街路構造令及細則につきても詳細に記載せる點に於ては、他に未だ嘗てその比を見ざるものにして斯界人士の必須書である。

目次
第一編總論、第二編道路の設計、第三編土工、第四編道路の排水設備、第五編鋪裝の構造及施工、第六編工作物、第七編都市計畫街路、第八編交通整理及街路照明の施設、第九編道路材料、第十編維持及修繕、第十一編道路用器具機械、第十二編示方書、第十三編法規、(附錄 測量に關する諸表其他)

増補頁一八五頁

發行所 社団法人 道路改良會
發賣所 好文館書店

東京市小石川區諏訪町五十六番地
振替 東京 九〇二番
電話 小石川 (85) 三六九番

A6判 一、二五六頁
レザークロース裝函入
定價 金五圓
送料 内地 金二十錢
臺灣 朝鮮 滿洲
支那 金廿八錢

土木設計計算例集

- 愛知縣土木技師 田島治身著
 第 1 輯 **無絞コンクリート拱橋の近似
計算法** B5 100頁 ¥1.80
- 哈爾濱工大教授 高見太一著
 第2.3.4輯 **鐵筋コンクリート設計計算例** B5 上 120頁 ¥2.30
 中 100頁 ¥2.50
 下 120頁 ¥2.00
- 神戸高工教授 江藤 禮著
 第 5.6輯 **應用力學計算法** B5 上 120頁 ¥2.50
 下 140頁 ¥2.70
- 北支建設總署技正 有坂誠喜著
 第 7 輯 **馬蹄型水路斷面計算法** B5 90頁 ¥2.00
- 愛知縣土木技師 田島治身著
 第 8.9輯 **木橋の設計計算例** B5 上 200頁 ¥3.50
 下 200頁 ¥3.50
- 鐵道省技師 坂元左馬太著
 第 10輯 **土木工事の步掛** B6 200頁 ¥2.50

本社編輯部版
水力發電所工事設計施工例 A 5,200頁
 設計圖寫眞
 60數葉挿入
 例 泰阜發電所 ¥3.20 送 26

- 工學士・建築士 柳瀨 駿著
アメリカ工場建築事情 A5 200頁 ¥2.00
 送 .14
 横濱高工助教授 大泉博一郎著
建築便所の研究 B6 200頁 價 2.50
 送 .16
 横濱高工教授建築科長 中村順平著
近刊 建築學 =總說編= B5,350頁 圖面寫眞
 約200葉挿入
 ¥10.00 送 .65

大東亞技術研究會編
南方技術 B5 第一輯90頁 ¥1.50
 送 .06
 南方關係の技術資料第2輯發行 B5 第二輯70頁 ¥1.00
 送 .06

科學の振興と技術の公開をモットー
 として數社合同新しく生れた國策雜
一月刊 土木雜誌 半ヶ年 3.00 誌なれ共 18年の歴史と最新の内容
 一ヶ年 6.00 (送 共) を有する土木専門の工學雜誌なり
 ◎御注文書籍・雜誌は總て書店又は直接本社振替東京151.195番へ

東京・丸ノ内 3丁目6番地 **土木雜誌社** 振替東京 151.195番
 電話 丸ノ内 (23) 2633番

日本土木工學博士 會長 牧長士

彦七先生監修

實用土木講座

特典附
新會員募集

內務技監
鈴木雅次
前內務技監
谷口三郎
前內務省大阪
土木出張所長
佐藤利恭

初級・上級共に完成!!

內容の一部
應用力學
鐵筋コンクリ
土木材料
測量學
河川工程
砂防工事
水力發電
都市計畫
以上初級の一部

セメント系舗裝
築造
基礎
農業土木
航空土木
高速鐵道
土木地質學
應用電氣學
土木工事監督
以上上級の一部

講師
內務技監 鈴木雅次
工博 牧野七
正務技師 森田
技師 下武
吉工博 岩崎富久
技師 倉品幸
農林技師 林
農林技師 林
農林技師 林

推薦

入會の絶好機
△初級一ヶ月三ヶ月修了。會費毎月一圓五十錢。送料二〇錢。
△上級一ヶ月一ヶ月修了。會費毎月一圓七十錢。送料二〇錢。何れも前納

內容見本申込み次第送す

東京市麹町區飯田町二ノ十一
日本土木工學會
振替東京二〇八三四番

鐵道工學會長

八田嘉明先生監修

鐵道工學講座

新會員募集

會費一ヶ月二圓
五十錢全卷三〇圓
圓・送料二五錢
內容見本
次第
急送

- 1 鐵道地質 鐵道技師 廣田 孝一
- 2 線路選定 鐵道技師 大木 利彦
- 3 線路土工 廣部 西岡 宏治
- 4 鐵道橋 教授 成瀬 勝武
- 5 鐵道隧道 鐵道技師 佐藤 周一郎
- 6 軌道構造保線 鐵道技師 川口 祐康
- 7 信號保安設備 鐵道技師 藤原 孝一
- 8 停車場 鐵道技師 岡田 信次
- 9 都市鐵道 鐵道技師 山崎 匡輔
- 10 鐵道車輛 鐵道技師 多賀 祐重
- 11 初級電氣工學 鐵道技師 池田 陽男
- 12 工事關係法規 鐵道技師 中島 安一郎

東京市麹町區飯田町二ノ十一
鐵道工學會
振替東京五二二七番

昭和十八年

道路の改良

三月一日

第二十五卷
第三號

言 頭 卷

筆者頃日病を得病院に在ること數日、常に目を掩はれ一物を見る能はず殆んど晝夜の區別なし、或時病室の四邊書籍を以て充滿され其の一部分くづれて胸に腹に身は書籍堆積の下に置かれ微動もする能はず遙かに天上を仰げば紺碧の空には群星燦然として輝き、時々彗星現はれては去り、去りてはまた現はれ而かもその光芒を以てわれを招くが如く感ぜらる、われ其の招きに應ぜんとすれども書籍の重き一層加はり如何ともする能はず、時に聲あり、汝萬卷の書を讀破するも天上に於ては何等の益なし、唯天の恩恵に浴することのみによりて始めて其の招きに應ずることを得べし、汝招きに應ぜんと欲すればよろしく書籍を投げ棄て、天の恩恵を受けるにふさわしきものとせよ」と語終りても尙四邊赫突として明るく、書籍のみ重く且暗きの外他物悉く光を放ち莊嚴の氣天地に滿つ。死もなく、悲しみもなく、苦もなく、惱もなき斯の天上の生活こそ我等の理想でなければならぬ、斯く感ずるうちに幻は消え去つた。

現實の事象は吾人に報じて曰くレンネル島沖海戦に於て我海軍は敵米戰艦二隻巡洋艦三隻を撃沈し戰艦巡洋艦各一隻を中破せりと吾人は誠に感謝感激に堪へぬ、曩のハワイ海戦に次いで勝利であつて、その戦果の甚大なるは驚くの外なし、是れ實に海空軍の偉力にあらずや。思ふにハワイ、マライ沖、珊瑚海、ソロモン海、南太平洋海戦に於て克く偉大なる戦果を擧げ得たるは海軍將兵の勇猛果敢なるに因るは勿論敵艦に突入自爆したる指揮官機乗組員の如き殉國の英靈の賜物である、吾人銃後に在るの國民何を以て之れに報ぜんか。

大東亞戰緒戦以來海に陸に戦勝に次ぐに戦勝を以てし、斯くも吾人をして安き居らしむるの武力に對し一億の國民は正に一心一體となり、あくまでも必勝の確信をもつて將兵に協力し、宣戦の目的を達成するにあらざれば斷じて干戈を收めざる覺悟を持し、單に職域奉公のみ安んずることなく、進んで千難に堪え萬苦を忍び、之を克服する信念に燃えつゝ私を去り、生死を超越し、血と汗とを以て勝ち抜くの決意と實行とを期し一人の落伍者があつてはならぬ、凡ての國民は總力戦の一戰士である、彼の名譽心かられ、私利に捕はるるが如きは深く之を戒め、他の負擔なりとて醉酒宴樂に耽溺するもの如きは罪惡として宜しく之を排斥しなければならぬ。

吾人は死後行くべきの所は正に天上の理想郷にあらねばならぬ、個人として此の理想に憧がれ、魂を新にし、潔き正しき生活をいとнами、彼岸に到達すべき日のあるを願はざるを得ない。然し此現實の地上に在りて國民としては身を終るまで、皇室に對して忠誠でなければならぬ、邦家の爲めに犠牲的精神を以て赤心事に當らねばならぬ、特に決戦時下の國民としては頭を切り換へて眞に臨戦下の國民たるを自覺し、必勝の信念を持して一路邁進せねばならぬ。吾曹は念ふ理想に生き現實に活きんが爲めに我が歩むべきの道、辿るべきの途は此の外にあらずと(洩民)